事業報告書

２０１４年度　公益社団法人　呉青年会議所

理事長報告

２０１４年度　公益社団法人呉青年会議所
第６２代理事長　道原　正嗣

一期一会　～ひと　まち　全ての出逢いに感謝～

一期一会とは、茶道に由来することわざであり、『あなたとこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょう』と言う意味の、千利休の茶道の筆頭の心得である。あらゆるものが便利になり、豊かすぎるもいえる生活環境が当たり前となってしまった現在では、私たちのまちの宝ともいえる豊かな自然とふれあう機会は減少してきました。人と自然、人と人、人とまち、すべての関わりが、利便さ優先の社会の中で希薄になってきています。そこで２０１４年度　呉青年会議所は、『一期一会』をスローガンに掲げ、人だけでなく、呉のまちなど、全ての〝出逢い〟に感謝し、その一瞬を大切に感じながら、５つの基本方針の下、一年間運動を展開してまいりました。

基本方針
１．次世代へ繋げるコミュニティづくり　～必要なのは若者の力～
２．このまちの魅力再発見　～特色豊かな素晴らしいまち呉の魅力～
３．呉青年会議所の瞬間（いま）を伝える　～魅力的な情報発信を懸け橋に～
４．より強固な組織作りに向けて　～団結は力なり～
５．会員拡大　～同志の輪を拡げるために～

以下、基本方針に沿って事業報告させていただきます。

「次世代へ繋げるコミュニティづくり　～必要なのは若者の力～」
本来、地域のコミュニティとは、何世代もの期間にわたって形成されてきた地域に基礎をおき、強固なつながりがあり、お互いに居住者の家族構成や生活状態を熟知し合っている。そしてそれが、いざという時に自然と協力関係を形づくることができるような存在です。残念なことに昨今、希薄になりかけている地域のコミュニティを維持していくために

は、呉の将来を担っていく若者たちの力が必要です。そしてその若者たちが、さらに次の時代へとつづく子供たちとの関わりを深めよい絆を築き、次世代へとコミュニティを繋いでいけるようと考え、『コミュニティ形成事業　～はじまり～　～つながり～』と題し、事業を展開してまいりました。若者が子供たちのリーダーとなることにより、子供たちのために自分たちで考え、行動していく、それを体験することで、リーダーとしての達成感や充実感をより強く、次世代のコミュニティへと繋げる第１歩を踏み出した事業だと考えます。

『このまちの魅力再発見　～特色豊かな素晴らしいまち呉の魅力～』

我がまち呉は、歴史的な遺構である旧日本海軍の足跡と共に、瀬戸内海の素晴らしい魚介類や島々で生産されている柑橘類などの多くの特産物があります。しかしながら、呉に住んでいると日常的に目にし、口にしているあまり、魅力として感じていない方も多いかもしれません。そこで市民の方々に改めて呉の魅力を感じてもらい、呉市民一人ひとりが、呉の魅力のプレゼンターとなって、呉を訪れた人に呉の魅力を伝えて頂けるようにと考え、『ＫＵＲＥ魅力再発見事業Ⅰ・Ⅱ』と題し、事業を展開してまいりました。
まずは呉市民の方を中心に、自分たちが思う呉の魅力をムービー・フォト・イラストで募集を行い、応募者の方に改めて呉の魅力に気付いていただく。そして、その応募作品を広く一般の市民の方に投票していただくことにより、多くの方に呉の魅力を知っていただくという内容の事業を展開いたしました。応募総数は６００件余り、投票総数は１６０００件を超えました。その後応募していただいた作品を展示し、呉の特産物を一堂に会したフェスタを開催することにより、呉の魅力に改めて気付いてもらい、呉の魅力を発信していく、「呉の魅力プレゼンター」としての一歩を歩むきっかけに繋がった事業だと考えます。

『呉青年会議所の瞬間（いま）を伝える　～魅力的な情報発信を懸け橋に～』

公益社団法人呉青年会議所の活動に対する理念は、創立以来変わることなく明るい豊かな社会の実現です。この理念を広く伝え、私たちの活動を知っていただき、また参加していただくためには、新鮮で正確な情報を広く発信するための手法が必要と考え、呉ＪＣのホームページを見て頂く人の視点を重視し、内容も充実し、「旬」や「鮮度」を見逃さないそのような情報発信を心掛けて取り組んでまいりました。これらは今後の呉ＪＣの広報活動における貴重な財産になったと確信しています。

『より強固な組織作りに向けて　～団結は力なり～』

「明るい豊かな社会の実現」これは創立以来の青年会議所の理想です。だからこそ、我々は１年を通してたくさんの市民の方と出逢える素晴らしい事業の遂行に向けて、メンバーの内部結束が不可欠です。月に１回行われる定例会では各事業に向けて、意識統一をし、対外事業を呉青年会議所メンバー全員で行うと強い意志を持ち続け、組織内の強い団結に

よって、事業をより優れた精度の高いものとしてまいりました。

『会員拡大こそＪＣ運動　～同志の輪を拡げるために～』

昨今、景気低迷、少子化という課題への対応を迫られ、社会のニーズも多様化したことから、複数の公益団体が設立され、その結果、青年会議所しかなかった時代から、青年会議所もある時代へと変化を余儀なくされ、我々の存在意義が改めて問われています。
これからも社会から必要とされる団体であり続けられる様、メンバーの意識改革を行い、青年会議所の目的、使命、役割を再確認するセミナーを開催しました。
我々メンバーがＪＣ運動に情熱や誇りを持ち、公のために真剣に活動を行っている生の姿を見ていただきたい。賛同から共感へ。共感から参画へ・・・。呉青年会議所の行う事業そのものが、呉青年会議所を広報できるような事業展開となるよう、我々メンバー一人ひとりが考え、率先して行動し、地域に必要とされる公益社団法人として、一つ一つの事業を大切に、取り組んでまいりました。

『広島ブロックアカデミーの主管ＬＯＭとして』

今年度、呉青年会議所は２００３年以来、１１年ぶりに広島ブロックアカデミーを主管させて頂きました。同志が一堂に会する場だからこそ、「呉の魅力」を存分に活かすこと、会員の資質向上と意欲向上を目的とし、メンバーが地域の力強いリーダーとなれることを重点におきました。その結果大変有意義な大会となりました。

また、本大会を主管するという経験を通して、メンバー全員が一致団結し、そして１人ひとりの自信と成長に繋がったことも大いなる成果となりました。

『最後に　～ひと　まち　全ての出逢いに感謝～』

無限の可能性があるこのまちを、私たち呉青年会議所は地域のリーダーとして考え、行動していかなければならない。私たちは決して一人で生きているのではなく、家族や友人、そして地域の人達に支えられて生きています。だからこそ、いま私たちに何ができるのかを真剣に考える必要があるのです。このまちのために、歩みを止めることなく。

２０１４年度、１年間、公益社団法人呉青年会議所の運動に賛同いただき、支えて頂きました方々に衷心より感謝申し上げます。

一年間大変ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長　　山本　純也

現代社会の中で忘れかけてきた日本のこころ、おもてなしの精神や地域コミュニティについて改めて考え、どうすれば若者たちに古き良き日本のこころや郷土を誇れるようになってもらえるのかを事業を通じて発信してきた１年でありました。

この１年を振り返り感じたことは、呉ってええじゃんコンテストの開催では、多数の作品を県内外から応募していただき、投票についても多くの人に参加していただいたこと、呉ってええじゃんフェスタでも同じく会場設営やブース出展、ステージ参加者や当日来てくれた来場者の皆様、呉ってええじゃんを通じて本当に多くの人に助けてもらい、多くの人との繋がりができたと感じております。

夏に開催した、わくわく未来会議 in くれにおいても多くの若者に参加してもらい、ドミノでつなぐ日本一においても、小学生の参加者、若者サポーターとは本当に楽しい時間を共有することができました。これも事業開催するに当たり呉市、呉市教育委員会の関係者の皆様に多大なるご協力をして頂いた結果だと考えております。
ここにおいても本当に多くの人との繋がりができたと感じております。

まちづくりとは、その時代に起こる問題を抽出してそれを考え、投げかけることで多くの人に問題に気づいてもらい、活動を共にすることで繋がる。これが連鎖することで多くの人と問題を共有、未来を創造することにより更に多くの人と繋がりを深めることにより、まちに活気が溢れ明るい豊かなまちの実現に向けて、みんなが努力することだと思います。これだけが、まちづくりではないと思いますが、私のＪＣ生活の中で強く感じたことは、いろいろな人と繋がり、多くの仲間をつくり共に活動をしていくことを継続していくことが大切なことだと感じました。

最後に、２０１４年度呉青年会議所の活動を多くの方々に応援、ご協力、参加して頂いたことに対して感謝申し上げます。「ありがとうございました」
そして、今から永劫続いていく我々の活動を今後も引き続きご支援、ご協力、参加して頂き、多くの仲間と共に明るい豊かなまちの実現に向けてがんばりましょう。

副理事長報告

副理事長　為敷秀雄

本年度は公益法人として年初よりスタートする初めての年でした。私はアカデミー室ラインとして会員拡大を第一に１年間取り組んで参りました。今年も大変苦戦しました。最近、ボランティア活動を積極的に行う若者が多いと感じます。しかしどうして、JC に入会する人が少ないのかと感じます。JC 活動がどういった活動しているのか上手く知られていないのか。そうであれば、分かりやすく伝えていなかければいけません。SNS を活用しても大切ですが、それだけでは伝わりません。活動している姿を市民の皆様に見て頂く事が大切であると思います。

本年度は１２名の新入会員を迎える事が出来、例年とは異なるカリキュラムで育成しましたが、積極的に活動する姿を見て、来年以降の活躍が大変楽しみであります。

私は、もう一つ広島ブロックアカデミー実行委員会実行委員長という役を拝命しました。広島ブロックアカデミーが呉で開催されるのは私が入会した年であり、１１年振りでありました。ここでは、２つの事を伝えたいと考えました。まず、１つは呉をどのカリキュラムでも感じて頂きたいという事です。体力カリキュラムでは海上自衛隊教育隊に全面協力頂きまして、自衛隊カリキュラムを JC バージョンにアレンジし山登り、ほふく前進リレー、ロープ結び、集合号令等行いました。居酒屋の青春では、焼鳥屋をイメージした暖簾に呉の地名を記載した屋台を配置し、呉の食を味わって頂きました。視覚、聴覚、味覚全てにおいて呉を感じて頂けたと感じております。

もう１つは、年々忘れかけられている厳しさを今一度感じて頂きたいという事です。時間をしっかり守る、返事は大きい声でする、挨拶はしっかりする等簡単ですが出来ていない事を今一度認識して頂きたいと思い実施しました。厳しくする事で、各隊（班）の連帯感が非常に感じられました。全てのカリキュラムにおいて一生懸命取り組んで頂いている光景をみて感動しました。

最後に私に JC 最後の年に副理事長という役を声掛けて頂きました道原理事長、本当にありがとうございました。又、森田室長、山下委員長、國久保実行副委員長を始めとするご協力を頂きました全ての皆さまに感謝を申し上げ副理事長報告とさせて頂きます。

１年間ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長　藤井　聖

２０１４年１月１日、私は「青年会議所は常にオシャレでなければならない」と宣言した。オシャレとは格好をつけることを意味しない。オシャレとは、世の流れにアンテナをはり、その時点で流行を敏感に感じ取ることができる資質である。

そして、年当初、いま呉青年会議所に求められるオシャレとは、会員数の減少から来る弊害を軽減させる組織の再構築であると考え、効率的、効果的な組織運営を心がけた。

これまで呉青年会議所の組織運営には無駄な箇所が多すぎると常々思い、本年度は効率的、効果的な組織運営を実現するために、思い切って大胆に様々なプロセスや内容を簡素化、簡略化することに努めた。しかし、その反面、理事役員同士やあらゆるメンバーとの間で共通認識を持つことが困難になる場合が少なからずあり、必ずしも青年会議所においては簡素化や簡略化が正義ではないことに気づかされた。そのため、年度の途中にはたとえ無駄に思われても丁寧なプロセスや内容の充実を心がけるようになった。

２０１４年１２月３１日、青年会議所に求められるサステナブルデザインにオシャレが必要であるとの考えに変わりはないが、それは決して汗をかかないという意味ではない。長きに亘る青年会議所の歴史、伝統、文化をすべて飲み込んだ上で、サステナブルデザインの足枷となり得るものを丁寧に見極めなければならない。

オシャレを察知する英知、物事を変革する勇気、そしてそれを実現させる人間の情熱の和。それが永続的にサイクルしていくことが青年会議所に求められるサステナブルデザインである。いつの時代も、人々は汗をかき、泥にまみれ、靴底を減らしながら無我夢中で課題や目標に挑む。その姿に感銘を受けた者が引き寄せられ、気付けば大きな和となる。

英知と勇気と情熱の和が変革（ムーブメント）を起こす。

専務理事報告

専務理事　折口　篤志

公益社団法人呉青年会議所は公益社団法人として２度目の決算を迎え、創立から６２年目の１年を終えようとしています。

新年のご挨拶で、我々は設立以来「明るい豊かな社会」実現の為今までと変わらず呉のまちの為に活動を行うと書かせて頂きました。しかしながら公益社団法人としての舵取りを任された立場として運営にあたる上で予算、定款変更、公益目的事業の内容等様々な問題に直面することとなりました。特に公益目的事業に関し当団体と広島県との見解に相違があった事は大変大きな問題であり、早期に問題を解決するきっかけを与えられた事は今後公益社団法人として存続していく為の大変重要な１年であったと感じました。定款変更においても重要な変更を無事に終えることができたことは大変有意義であったと感じています。

この全てにおいて事務局ライン、特に明神事務局長、矢原特別理事においてはそれぞれの立場、役職において最大限の活躍をして頂き、また佐々木事務局員の支え無くしては達成できなかったことは言うまでもなく、感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度「一期一会」～ひと、まち全ての出逢いに感謝～のスローガンの元、５つの委員会と５人の委員長によって１年間多くの事業を展開致しました。

それぞれに与えられた課題は決して簡単なものではなく、多くの生みの苦しみがあったと思います。目的を達成するためにはどのようなかたちで具現化していく必要があるのか、それがまちから求められているものなのか、そして公益目的事業として申請内容に合致している事業なのか。各ラインの副理事長、室長はその難解な問題をことごとくクリアし、５人の委員長によって見事全ての目的を達成して頂きました。

当団体に所属するメンバーによって構成された理事役員が中心となり１年間活動を行ってきた公益社団法人呉青年会議所は、単年度制によりすべての役職が入れ替わります。今後、同じメンバーが同じ場に集まって会議を構成するということはありません。道原理事長の掲げた「一期一会」によって我々もまた素晴らしい一期一会を頂き、２０１４年度というかけがえのない１年間を送ることができましたことを感謝致します。そして１年間を無事に終えることができました事をここにご報告し、関わって頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

１年間本当にありがとうございました。

事務局長報告

事務局長　　明神　政之

２０１４年１２月３１日、呉青年会議所が一年間、公益社団法人として活動した初めての年度が終わりを迎えました。当会議所は設立以来長きに渡り「明るい豊かな社会の実現」という目的を掲げつつ、その時代の潮流に合わせ姿を少しずつ変えながら活動を展開してまいりました。その歴史の中でも大きな転換期が２０１３年の公益法人への移行です。しかしそこには会員数の減少に伴う予算の削減、公益事業比率５０％の達成、事業参加者からの登録料収入の確保、固定費の圧縮、各事業に課せられる公益審査等、様々な問題、課題を抱えていたことも事実です。

本年度、事務局長を拝命するにあたり、私は「２０１４年度の事務局運営を新たなスタンダードとする」ことを目標とし、諸会議運営や予算管理を行ってまいりました。実行できたこと、変えられなかったこと、失敗したこと、色々ありますが一定の成果は残せたものと考えております。そしてこれまで公益法人運営に対してネガティブなイメージが強かった中で、僅かではありますが明るい道筋が見えてきたことも大きな収穫です。

各種事業が公益の名を冠した高度なものとなり、これからも呉青年会議所が社会から必要とされる団体として存続し発展していくため、今後も更なる変革が必要となってまいります。このような役職を経験させてくださった皆様に恩返しするためにも、私がこの一年で学んだことをしっかりと次代に引継ぎ、「公益社団法人呉青年会議所」の火を途絶えさせることのないよう、微力ながら寄与出来たらと考えます。

最後に一年間、至らぬ私を支えてくださった折口専務理事、矢原特別理事、セクレタリーのみなさん、佐々木事務局員、そしてご協力いただいた全ての皆様へ心から感謝を申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。

公益担当特別理事報告

公益担当特別理事　矢原　孝一郎

年頭初のごあいさつでも触れさせていただきましたが、公益社団法人の処理をする際の難しい点は以下の２点です。まず、継続事業を前提として作られている公益法人制度と単年度制を前提として設計されている青年会議所制度との齟齬をいかに近づけていくかという点と、前例や資料がないので何を根拠に作業を進めていくかという点です。

まず、公益法人と青年会議所の齟齬をいかに埋めていくかの点について

今年度は、公益の手続きの一巡が体験できる年でした。つまり、①予算書・事業計画書の提出、②役員変更の届出、③前年度の事業報告書の提出を行いました。

申請をして一年、現実の運営と定款の規定について見直しを行いました。まず、②役員変更の手続きに際し、呉青年会議所の組織体制等を整備し、人的資源を有効に活用するため、定款１７条の変更をしました。③前年度の事業報告書に対し、従前のタイムスケジュールに沿って決算を行うと定款第３０条４項の総会の招集の要件に抵触する恐れがあるため定款２６条、２９条の変更を行いました。それに伴う処々の定款の変更を行いました。次に、理事長選考の流れを、現実の手続きとの乖離を修正すべく役員選考規定を変更しました。さらに、社員総会運営規則、情報公開規程、個人情報管理規程を作成しました。今年一年で、定款・諸規定等の変更・作成により、一応公益社団法人としての体制づくり、齟齬の問題は完了をしました。しかし、体制の問題に関連として、事業のカテゴリー分けや、あと現在金額の査定の難しいＪＣ基金、特別会計の処理など手の付けようのない先の問題や、５年の計画が必要な寄付金の税額控除に係る申請などオプションとしての問題が残りました。

つぎに、資料不足の問題について

過去２年分の実績、例えば、議案上程の際、公益目的事業を開催するにあたってチェック項目に対応するように添付の資料や過去の申請書類これから作成する本年度の事業報告によりある程度のストックができたとおもいます。

公益社団法人といういかめしい名前と煩雑な事務の作業のため、メンバーに幾分かの不安があることは承知しています。煩雑な事務の作業の問題は、上記のように解決しています。あとは、公益社団法人としてという無形なものへの不安だと思います。しかし、公益法人制度改革の目的は、民による公益の増進であり、青年会議所の目的は、明るい豊かな社会の実現です。メンバーの一人一人が事業をする際『公』という点を見据えて活動をしていけば特に問題はありません。メンバーが協力して問題にあたれば、必ず解決し、問題点は強力な武器に代わることが実感できた１年でした。関係者一同への感謝と次年度以降の発展へ期待を結びの言葉とさせていただきます。

室長報告

くれ@ｈｏｍｅ室
室　　長　神垣良子

本年度、くれ@ｈｏｍｅ室　室長として２つのまちづくり委員会とともに活動しました。
ひとつは、呉の魅力を改めて再発見・発信し、多くの人に魅力プレゼンターとなってもらう事業を展開した「ＫＵＲＥ魅力再発見委員会」。そしてもうひとつは、次世代へとつなげていく地域コミュニティを目指して事業を展開した「呉ハツラツコミュニティ委員会」です。

「ＫＵＲＥ魅力再発見委員会」の事業では、我々も知らない呉の隠れた魅力が多く集まり、多くの人が自分の住むまちを好きでいるのだと改めて気付かされました。またそれを発信することにより、自分がしらなかった魅力に気づき、さらにそれを発信していきたいという気持ちになってもらえたことは、魅力プレゼンターへの階段を一歩踏み出してもらえたのではないかと考えます。

「呉ハツラツコミュニティ委員会」では、地域コミュニティというと固くなってしまいますが、そのイメージを壊すべく、遊びを通して世代間のコミュニケーションの場を提供しました。これからを担っていく若者に中心となってもらい行った事業は、参加してもらった若者に小さな気付きを与えたことと感じています。

郷土愛を共感し合いながら、地域のコミュニティにおいて人と触れ合い成長し、一つの家族のような「まち」となれるようにと、くれ@ｈｏｍｅ室という室名をつけさせていただきました。
「くれ」という一つの巨大な家族となるには、まだ時間がかかるかもしれませんが、この二つの委員会の活動を通し、少しでもその一助となっているのであれば嬉しく思います。

室長という少し違うポジションで委員会に関わってまいりましたが、自分の未熟さを感じるとともに、自分を見つめ直す良い機会となりました。このような役を経験させていただけたことに深く感謝をしております。
一年間、本当にありがとうございました。
室長という役目は終わりとなりますが、今後につなげていけるよう引き続き邁進してまいりたいと思います。

室長報告

アカデミー室
室　　長　森田　旭

自分の思い描く室長像とは違った室長生活だったと思います。
私が思い描いていた室長というのは、どっしりとして周りを見渡し、委員長の見えていないところを的確に見抜き指示をとばす。そして事業を成功させるには一歩及んでいなかった委員長の考えを補う。そんなイメージを抱いていました。
しかし、私はその最後の一歩を補う事が出来なかったように思っています。
２月例会　プロ野球選手から学ぶ講演会　「プロの自己マネジメントとは？」では、
多くの方々にご参加いただき大変盛況に終えました。参加された方はマネジメントなんてどうでもよくて、カープ選手に会えるからと言う理由の参加者も多くおられました。
それでもいい。カープ選手に会えると思って参加された方であっても、厳しいプロ野球生活で自然と培ってきた高い自己マネジメント能力をＪＣが具体的な言葉にしてわかりやすく教えて感心していただけたら。しかしそこまで導くことは私には出来なかった。
このように、私の室長生活には年間を通して「たら」「れば」が大変多かった。
高い志を持ち、目的を意地でも達成するのがＪＣであると思っています。
成功に見える失敗というものは、この会には数多く存在します。
真の成功に導く役目、委員長を一歩上に押し上げるそれが室長の役目であったと身をもって実感しました。
そして「たら」「れば」言っている団体に誰が入りたいと思うのかとも。
「目的を意地でも達成するのがＪＣ」この熱い言葉、熱い気持ちがまちを変え、人を変え、魅力ある団体として会員獲得にも間違いなく繋がります。
今年度、室長という役の中で本当にたくさんの事を考え、経験させていただきました。
それを今後に活かし青年会議所の一員としてまだまだがんばって参ります。
本当に今年も、呉市や中通商店街、他の団体、青年会議所メンバーの皆さまにはたくさんご協力いただき感謝致します。
一年間ありがとうございました。

室長報告

サステナブルデザイン室
室　　長　増田　哲之

冒頭から引用で恐縮だが、ある著名なデザイナーの言葉を紹介したい。
「necessity（ネセシティ）～必要がことを生む～
これはデザインの重要な基本の一つであり、人々の求めるものを理解し、かたちに置き換え、そして人々に提示していくことである。人々の思いをかたち化し、また自らをとおして人の思いを察し、かたち化することで世界の人々に通用すればこんな嬉しいことはない。」
数年前この言葉に出会い、青年会議所活動、また自らの事業にも通じる言葉だと思い、メモしていた。本年度青年会議所活動を行い判断に迷う際はこの言葉を思い返すようにしていた。副理事長を始め、委員長、スタッフ、委員会メンバーと議論する際はこの精神を以て妥協なく行った。私自身は大した働きは出来なかったが、この「思い」は伝わり、各委員長が当会に必要であることを汲み取り、スタッフや委員会メンバーと供に、当会の思い、地域の思いをのせて、自らのフィルターを通し「かたち化」してくれたと感じている。
総務広報という、当会の根幹を司る委員会でそれを行った事で、メンバー同士の結束は深まり、他委員会の負担を補い、呉青年会議所の一般への認知が広まったのではないかと感じている。詳しくは各委員長の報告をご覧頂きたい。
今年度の当室の思いが（形として残ったものでなく「思い」が）次年度以降も継続し役に立つ事を切に願う。今後会員の減少による、様々な弊害に直面する際、必ず役に立つ筈である。また、それが出来たらサステナブルデザインが出来たこととし、本当に嬉しく思う。
制限年齢に達し、卒業する年にこのような役を受けさせて頂いた事、それを素晴らしい仲間と執り行う事が出来たこと、様々な事に感謝し、衷心よりお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

（公社）呉青年会議所　２０１４年度　事業報告書

『事業報告』

呉ハツラツコミュニティ委員会
委員長　　神田　真生

〔スローガン〕　　つながり

２０１４年度、委員長という役を受けさせていただくにあたり、自分の中で３つの決まりごとを作った。

１つ目は理事長の掲げた基本方針の１つ『次世代へ繋げるコミュニティづくり～必要なのは若者の力～』を具現化するため、１年間とことんしっかり考える事。

事業構築にあたり、まずはストレートに若者主体の事業をしたいと思った。次世代へと繋いでいくためには何より若い力が必要だと考えたからである。すぐにイメージしたものはお年寄りから、子供まで様々な世代の方に集まってもらい、若者を中心として何かをやり遂げるものであった。最終的には宿泊を通し若者たちが地域コミュニティに対する興味を持つ『きっかけ』づくり、宿泊のイメージを考えていくと結局対象は子供と若者だけになってしまったが、事業自体、参加者は満足して帰ってくれたと信じている。

２つ目はいつか訪れるであろう苦しい場面でも、支えてくれるスタッフの前では笑顔でいる事。

やる気でやっても、やらなくても１年は過ぎてしまう。苦しい事もあり、もしかしたら笑顔でない時もあったかもしれない。しかしそんな時でも、支えてくれた副委員長、幹事の２人には本当に感謝している。

３つ目は呉ハツラツコミュニティ委員会のスローガンに掲げた『つながり』をとことんやる事。

もちろん、対外に出ていく委員会の委員長として協力して下さる外部の方、事業に参加いただいた若者、子供との『つながり』や出逢いがあった。しかしそれと同時に自分自身は呉ＪＣのメンバーとの『つながり』も強くなった１年ではないかと思う。スタッフ、委員会メンバーには相当な迷惑を掛けたが最後までやりたい事をやらせていただき、その他の方々にも２度に渡る対外事業に積極的に参加いただいた。

最後に１年間委員長という役をさせていただき、様々な人がおっしゃった「委員長の年が１番楽しかった」という言葉が解った気がする。１年間頭を悩ませ、形を作り、直しながら、人の支えをいただきながら最終的に自分のイメージしたものが出来上がる。最高に楽しい１年間だった。出逢った皆さま全員に感謝したい。

事業報告
１．
事業名：４月例会「コミュニティ形成事業」に向けて

日　時：２０１４年4月7日（月）　１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル　天の間（１）

協力団体：なし

事業概要（方法）：
①３分間の、地域コミュニティについて独自に作成したＶＴＲをオープニングで流した。
②当委員会の基本方針（次世代へ繋げるコミュニティづくり～必要なのは若者の力～）・目的をプレゼンした。
③呉市の地域コミュニティに関する現状、問題点を抽出しその原因を探るため、事前に呉市民にアンケートを実施し、それを基に討論会形式で寸劇を行なった。その後、解決策（事業の方向性）を提示した。
④一連の流れをまとめ、今後行う事業についての方向を示した。

検証方法と効果：
検証方法　現役メンバー及び仮入会員へのヒアリングを行った。
効果　４月例会の目的である、委員会の基本方針、目的をメンバーに理解・共有していただけたと考える。また寸劇を交えての呉市の地域コミュニティに関する現状、問題点とその原因も理解していただけたと考える。地域コミュニティに関心を持たないといけないと感じてくれた方もいた。
ただし今後行う事業について具体的な内容に触れないためにメンバーにとっては物足りなさも感じたのではと思う。また解決策において具体的な提案をしていないため、今後、当委員会が何をしようとしているかイメージできなかったという人もいた。「興味がない」、「時間がない」、「自分には関係ない」という呉市民対象のアンケート結果を踏まえ、事業展開していく。

２．
事業名：コミュニティ形成事業～はじまり～
　　『日本一をつくろう！ワクワク未来会議ｉｎ呉』

日　時：２０１４年7月１３日（日）　１０：００～１４：３０

場　所：呉市体育館　２０１室

協力団体：呉市（後援）、広島県教育委員会（後援）、
ＮＰＯ法人コドモ・ワカモノまちｉｎｇ

事業概要（方法）：
講師にＮＰＯ法人コドモ・ワカモノまちｉｎｇ代表理事の星野諭氏をお呼びし、１５歳～２２歳までの若者を対象に講演、ワークショップを行った。
「若者のチカラ」「特技や趣味」「遊び」というキーワードを全面に出し講演いただき、若者に今の地域コミュニティの現状や必要性について理解してもらうと共に、仮想で作る地域コミュニティにおいて、ＪＣメンバーと「日本一のドミノイベント」を行うためのアイディアを出し合ってもらった。
①講演　『若者のチカラは∞だ！』
星野氏に地域における若者の存在、役割等をご自身の経験を踏まえながら、他の地域の実例を出していただき、楽しくわかりやすくご講演いただいた。
②ワークショップ『日本一をつくろう！ワクワク未来会議ｉｎ呉』
３段階に分けたワークショップを行った。
【ステップ１】　創作遊び(創造の方法学習編)
【ステップ２】　～いまだけ×ここだけ×私たちだけ～（地域活動への応用編）
【ステップ３】　日本一のドミノイベント企画（仮想地域活動への応用編）

検証方法と効果：
検証方法　参加者対象のアンケート実施、及び現役メンバー、仮入会員へ感想を聞いた。
効果　参加者対象のアンケートで「地域コミュニティに興味が湧いたか」という質問に対し、９０％以上の参加者が「興味が湧いた」との回答をした。地域コミュニティに対して興味はなかったが、遊びや楽しみの中からでも地域活動が出来るという事がわかってもらえたのではないかと考える。
全員というわけにはいかなかったが、アンケート結果や、数名は次の事業にも来ていただけた所を見ると、興味を持つ「きっかけ」にはなったと考える

３．

事業名：８月例会『ドミノでつなぐ日本一に向けて』

日　時：２０１４年8月４日（月）　２０：０５～２１：０５

場　所：クレイトンベイホテル　天の間（１）

協力団体：なし

事業概要（方法）：

①３分間のドミノにまつわるオープニングＶＴＲ
②パワーポイントを用いて７月１３日のはじまり事業から７月２７日の若者全体ミーティングまでの流れを振り返り、小学生の親に対して行う事業の事前説明会内容についての説明。
③パワーポイントを用いて「ドミノでつなぐ日本一」の大まかなタイムスケジュールを説明。
④各テーブルにて、メンバーに運営マニュアル、各委員会役割を見てもらいながらの概要、タイムスケジュール、運営、各委員会に振り分けさせてもらった役割の説明。駐車場の説明、校内禁煙（校外でも極力近くでは吸わない）、飲酒禁止（校内ではもちろん、外でも飲んだら校内に入らない）などの徹底。
⑤委員長挨拶、上記②から④を振り返りながら、事業協力のお願い。

検証方法と効果：

検証方法　現役メンバー及び仮入会員へのヒアリングを行った

効果　時間帯別の出欠を取ったことで、委員会ごとに動いてもらうというよりも、個人で動いてもらうための役割分担が可能となった。また、早めの出欠確認で、来られないメンバーの方には例会後に個人的に協力をお願いする事ができた。
また８月例会に来ていたメンバーほとんどの人が時間帯別出欠表に記入があった。数時間でも手伝ってもらいたいという思いが伝わり、説明時間が長いという指摘もあったが、時間を取って丁寧にした事で理解があったと考える。

４．

事業名：コミュニティ形成事業～つながり～（公社）呉青年会議所日本一プロジェクト！
『ドミノでつなぐ日本一』

日　時：①若者ミーティング（個別）　２０１４年7月１４日（月）～8月２２日（金）
若者ミーティング（全体）　２０１４年7月２７日（日）
１３：００～１５：００
②事前説明会　２０１４年8月６日　１８：００～１９：００
③『ドミノでつなぐ日本一』
２０１４年8月２３日（土）９：３０～

２０１４年8月２４日（日）６：３０～１５：００

場　所：呉市立本通小学校

協力団体：呉市（後援）、呉市教育委員会（後援）、広島県教育委員会（後援）、
ＮＰＯ法人日本ドミノ協会
協力者　：住本　明日香氏

事業概要（方法）：
①若者ミーティング
全体で７月２７日（日）に若者対象に行った。８月２３日・２４日に使用する教室、グラウンドを見てもらい、その後ＮＰＯ法人日本ドミノ協会よりドミノ講師をお招きし、ドミノの講習会を行った。
ドミノの基礎知識、基本的な並べ方（直線、曲線、枝分かれ）を教わった。後半には体育館バスケットコートの外周に、みんなでドミノを並べていき倒した。バスケットコート１周と遊び部分、最後の仕掛け部分で倒れる時間はおよそ１分３０秒程であった。
その他、８月１６日から２１日まで、個別にドミノの作り方、絵の作成方法、グループ内の子供の名簿、２日間の生活などをレクチャーした。

②事前説明会
８月６日（水）参加者の親を対象に行った。理事長挨拶の後、委員長、副理事長がしおりに沿って説明を行った。駐車場の事など主な注意事項、子供向けの生活のルールの熟読などを促した。

③『ドミノでつなぐ日本一』
８月２３日（土）２４日（日）、下記内容にて１泊２日で行った。
８月２３日
受付、開会式、グループミーティング、ドミノ練習、図面を見ながらの作成、風呂、夕食、レクリエーション、就寝
※間の休憩や昼食は適宜
８月２４日
起床、ラジオ体操、朝食、グループミーティング、図面を見ながらの作成・ドミノ遊び掃除、ドミノ倒し、グループミーティング、閉会式
※間の休憩や昼食は適宜
「日本一呉市に因んだ図柄を使用したドミノ並べ」として、日本一ネットへ申請した。

検証方法と効果：
検証方法　『ドミノでつなぐ日本一』の最後に若者、参加者にアンケートを行った。また参加したＪＣメンバーへヒアリングを行った。
効果
①若者について
特に、７月１３日のはじまり事業から来てくれていた人に関して、感想の中でもあったが、２カ月近く事業（ドミノ、子供との共同生活）について考え、地域コミュニティについても考えてくれていた。

指示を出せるようになりたいや、まとめなければいけないなどのリーダーとしての自覚もあった。また、今後も何かあったら参加してみたいという意見もあり、地域活動に積極的に参加しやすくなるきっかけになったものと考える。
②子供について
子供に対しては、とにかく楽しむ事、無理はしない事を約束してもらった。こちらの想いとしては、親と離れ、地域コミュニティの前に家族のコミュニケーションを大切にしてもらいたかったため、家に帰った時に家族でたくさん話をしてほしいと思っていたので、とにかく子供には楽しんでもらいたかった。
結果、家で親に話したいですか？という質問に関してほとんどの子供が「はい」、楽しかったからという回答をしてくれた。
また、高学年の子が、低学年の子の面倒を見ている場面（例えばご飯を待つ時や低学年の子の集中力が切れた時など）もあり、小学生の中でも小さなコミュニティができていた。

（公社）呉青年会議所　２０１４年度　事業報告書

『事業報告』

ＫＵＲＥ魅力再発見委員会
委員長　礒道　忠男

〔スローガン〕　　ＫＵＲＥ　呉　くれ
～魅力満載の我がまちを再発見！～

初めて理事を経験させて頂いて１番に思うところは、人との出会いの数が多くあった事だ。呉市等行政の方、各地域でご商売をされている方、ＪＣの先輩、新聞・ラジオ・ＴＶ等のメディアの方、大勢の方に出会わせてもらった。それらの方から頂く意見が事業を構築し、その過程の中で私も成長させて頂いた。

３月のオブザーバーをお呼びし対談形式のプレゼンも交え、呉の魅力再発見を考えた例会から始まった当委員会の事業は、多くの方から教えてもらった「呉ってええじゃん！コンテスト」を基に、７月例会を経て、１１月９日のＫＵＲＥ魅力再発見事業Ⅱ『呉ってええじゃん！フェスタ』での呉の魅力を体感する事業で終焉を迎えたが、私自身が１番、呉の魅力について興味を持ったと感じる。どちらかと言えば、呉について、自主性がなかった私も多くの人と出会う中で、多様な問題や取組みについて、学ぶ事が出来た。これは呉市民として、あるべき姿であり、一個人ではあるが、志を同じくする方と協力して呉のまちをもっと良くしたいという思いに至った。

この一年を通し、特に多くの出会いに感謝すると共に、我がまちの発展を願い、私自身が貢献していく。

事業報告

１．事 業 名：３月例会
　日　　時：２０１４年3月３日（月）
　場　　所：クレイトンベイホテル３階　天の間（１）
　協力団体：入船山記念館　館長　津田 文夫氏
　事業概要（方法）：ＫＵＲＥ魅力再発見 委員会の年間事業概要の理解・共有を目的に、プレゼンテーション等の方法を用いて行った。
　検証方法と効果：検証方法は、各委員長、副委員長、幹事にアンケートを実施した。効果としては、年間事業概要における大きなテーマの１つである呉

の魅力の再発見について、津田氏とのトークセッションを通し、呉の「知っている様で知らない魅力」「全く知らない魅力」について改めて知り、呉の魅力は無限なのだという事を少しでも感じてもらえたのではないかと考える。
魅力を効果的に発信するといったテーマについては、「大和ミュージアム」というネーミングからくるイメージの伝わりやすさが集客に繋がったという例を上げ、発信の仕方と周知の大切さを、津田氏の経験上での視点で意見を頂けたことは、理解を深めてもらうために効果があったのではないかと感じた。
また、今回の例会は、講師との対談形式をとり、講師より意見を引き出すことで、分かりやすく聞けたところもあった。
検証結果をみると、「呉市民一人ひとりが呉の魅力のプレゼンターとなって呉を訪れた人に伝える」という当委員会の基本方針を理解して頂き、共有を図る事ができた面があった。

２．事 業 名：ＫＵＲＥ魅力再発見事業Ｉ「呉ってええじゃん！コンテスト」
日　　時：募　集　期　間：２０１４年５月１日（木）～６月３０日（月）
選　考　期　間：２０１４年７月１日（火）～７月８日（火）
投　票　期　間：２０１４年７月９日（水）～８月３１日（日）
入 賞 者 発 表：２０１４年９月３日（水）
授　　賞　　式：２０１４年１１月９日（日）
場　　所：（公社）呉青年会議所ホームページ　特設「呉ってええじゃん！」サイト
協力団体：後援：呉市、呉市教育委員会、中国新聞社、カメラのサエダ
協賛：くれえばん
事業概要（方法）：呉の魅力を多くの人が発信することを目的に、あなたの大好きな呉を動画・写真・絵でＰＲコメントを一言、添えた作品を募集し、当団体・呉市観光振興課と選考したものについて、一般投票によりコンテストした。

検証方法と効果：検証方法は、一般市民の方からの声を聞いた。

大和ミュージアムが出来て以降、多くの観光客が呉に来るようになり、呉は“観光のまち 呉”として一歩を踏み出したが、観光客に対し、まだまだ呉の魅力が伝わり切っていない問題点があった。

問題解決のため、当事業を実施し、さらにより多く受信される発信方法として、多くの投票を集め話題とする事により、ＨＰの閲覧者が増え、くれえばんが特集を組んでくれ、事業目的である「呉の魅力を多くの人が発信する」ことが出来た。

当事業は、呉の魅力として多くの作品を集める事ができ、投票してもらった得票数により呉の観光のニーズが一般にも明らかとなった。

日時について、募集期間を２カ月短縮し投票期間を半月長くすることにより、当事業について間延びさせず、呉の魅力再発見をテーマに集めた作品を多くの人に発信する事ができた。

投票方法について、インターネット投票と補完的に直接投票を実施する事により、多くの人に投票してもらい、インターネットを利用しづらい子供やお年寄りも投票する事ができた。また、直接投票場所が、人が多く集まる場所であったため、選考作品の展示が呉の魅力の発信につながった。

効果的な魅力の発信につながる“しかけ”として、グランプリが各部門１本とし、投稿者とボタンクリック者に競争原理を利用して気にかけてもらい、何度も呉ＪＣ ＨＰ 特設サイトを見てもらう事ができた。

投票景品について、投票景品を用意した事により、より多くの投票につながった。

３．事 業 名：７月例会

日　　時：２０１４年7月７日（月）

場　　所：クレイトンベイホテル３階　天の間（１）

協力団体：なし

事業概要（方法）：ＫＵＲＥ魅力再発見事業（仮称）の事業・運営説明・協力のお願いを目的に、プレゼンテーション等の方法を用いて行った。

検証方法と効果：検証方法としては、メンバー及び仮入会員へのヒアリングを行った。

効果として、現役メンバーに対しては、３月例会と一部重複してしまう部分があったが、仮入会員にとっては当委員会の例会は初めてのため、再度、当委員会の基本方針や目的について説明することで、この一年の取り組みを理解し共有してもらえた。

事業Ｉ「呉ってええじゃん！コンテスト」について例会前に募集期間も終えていたため、数多くの応募作品を通し、作品の傾向や応募の統計を取り検証することで、呉をどのように魅力に思っているのか、我々が考える呉の魅力とどのように違ったのか、またこの事業自体への反応はどうであったのかをメンバーに知ってもらい、呉のまだ知らない魅力や違った側面での魅力に気付いてもらうことが出来たと考える。

また、観光振興課や各委員会の意見を交え、投票対象作品を絞ったことやその選定理由並びに感想を含め作品を紹介することで、なぜその作品が選んだのかを理解してもらえた。

さらに、事業Ｉの一般投票についても、特設サイトからの投票だけでなく、一般市民が多く集まる場所に投票箱を設置するため、誰で

も気軽に投票出来る事を伝えることで、今後の投票への協力のお願いに繋がったと考える。

４．事 業 名：ＫＵＲＥ魅力再発見事業Ⅱ「呉ってええじゃん！フェスタ」

日　　時：２０１４年１１月９日（日）１０：００～１６：００

場　　所：大和ミュージアム裏甲板広場　大和波止場周辺

協力団体：呉まつり協会、呉市、広島ガス、呉市教育委員会、くれえばん、中国新聞社、カメラのサエダ、２０１４くれマリンクイーン　玉井 実由 氏、田代 瑞紀 氏、横山 雄二 氏、住本 明日香 氏、田島 隆 氏、東風 孝広 氏、竹下 ひかり 氏、まりー@コスサミ大和 氏、はにゃ子 氏

事業概要（方法）：呉の魅力を多くの人に発信することを目的に、市民参加型事業の方法を用いて行った。

検証方法と効果：検証方法は、一般市民の方からの声を聞いた。

効果としては、ＫＵＲＥ魅力再発見事業Ｉの『呉ってええじゃん！コンテスト』で、皆さんからの発信を情報源として、呉の魅力を多くの人に発信するために、たくさんの人が関わった『呉ってええじゃん！フェスタ』を体感してもらった。

今現在、２つ動き出しているものがある。１つは、間宮羊羹の商品化だ。ブース出店もして頂いた中通の企業が権利関係の了解も頂き、商標登録の申請をし、羊羹作成の業務提携をし、パッケージのデザインを考案し、着々と商品化が進められつつある。年内には売り出したいと話していた。

もう１つは、艦コレである。コスプレ業界で有名な雑誌の表紙を大和の艤装で飾った本フェスタ協力者のまりーさんの艤装を呉で設置することに決まった。呉と言えば、「戦艦 大和」と言われる方は多いと思われるが、その大和の大きくて有名なプラモデルが呉に残ったのだ。

呉のまちはたった１日のフェスタではあったが、少し動き始めた人

もおられる。

みんなの"大好きな呉"体感!!
呉ってええじゃん!
フェスタ
11/9日
10:00～16:00
大和ミュージアム 大和通公園公園
GUEST 艦隊これくしょんの
艦娘がやってくる!
GUEST「極黒がんぼ」「カバチタレ!」トークショー
★原作者 田島 隆さん
★漫画家 倉橋 孝広さん
【司会】RCCアナウンサー 横山 誠二
【司会】カープ女子のリーダー フリーパーソナリティ 住本明日香
呉ってええじゃん! カードで使える!!
1,000円分の金券 発売
3万円の旅行券など 豪華商品が当たる抽選券付!!
呉JC
http://www.kure-jc.or.jp

じゃん!
フェスタ
一期
一会

じゃん!
フェスタ
一期
一会
ひとまち
全ての出逢いに感謝

和風ラーメン 500円
巻ずし550円
セット1000円 三杯
生ビール 400円
ハイボール
カフェラテ 200円
巻寿しセット 550円
わふうらぁめん
呉

ええじゃん!
フェスタ
一期
一会

ええじゃん!
フェスタ
ひとまち
全ての出逢いに感謝

（公社）呉青年会議所　２０１４年度　事業報告書

『事業報告』

炎のアカデミー委員会
委員長　　山下俊一郎

〔スローガン〕　　燃えよ青年

一年間、「英知と勇気と情熱」の炎を燃やしました。燃え尽きるまで燃えました。

今は、真っ白な灰になっています。

２０１４年度は，１２名の新入会員が入会することとなりました。卒業生の人数と比べると，決して多い人数であるとはいい難いところではあります。もっとも，新入会員らの人格，能力及び公人意識等の観点からすると，まさに粒ぞろいの人材を獲得し，育成できたと自負しています。

候補者名簿の活用だけでなく，仮入会の動機付けのための２月オープン例会の開催を行い，従前名簿に上がっていなかった方々にもアプローチし，可能な限り候補者との面談，会食及び事業・活動への参加勧誘を行って会員拡大に尽力しました。

また，仮入会員の育成については，仮入会員ら自らが中心となって事業のマネジメントを行うように配慮し，経営者・地域の担い手が有すべきマネジメント能力の修得につながったものと考えています。仮入会員らがやりたいと思うことを否定せず，正しい方向へ伸びていくよう，また，仮入会員同士の熱い友情が育まれるよう，配慮しました。

振り返れば，至らぬところばかりです。しかし，現役メンバー，ＯＢ，地域の方々，そして仮入会員らに助けられ，一年間燃え尽きることができました。本当にありがとうございました。

冒頭で申し上げましたとおり，今は真っ白な灰になっています。

しかし、これで終わりではありません。

フェニックス（火の鳥）は、自らを焼き尽くした灰の中から、再び幼鳥となって羽ばたくといわれています。

２０１４年度仮入会員を含め，われわれ現役メンバーがこれからの呉の代表であるとの意識を持って、明るい豊かな社会を築き上げるため，２０１５年度以降も羽ばたいていく決意を新たにする次第です。

事業報告

１．事業名：２月例会　プロ野球選手に学ぶ講演会「プロの自己マネジメントとは？」

日　時：２０１４年2月３日（月）１９：００～２１：００

場　所：クレベイトンホテル３階　（天の間）

協力団体　：北別府学氏　佐々岡真司氏　高橋建氏　榮真樹氏

事業概要（方法）：元カープ選手３名を招き，榮アナウンサーにコーディネーターを依頼した上での講演を行なった。

自己マネジメントをテーマとして，プロ野球選手というその道を極めた専門家の経験談等を披露していただいた。市民の仕事や生活等の様々な場面にも参考としうる，市民の自律意識を呼び起こすための一助となる内容であったと考えている。

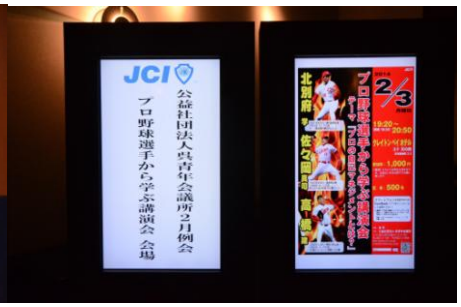
フェイスブックを利用し、参加者からリアルタイムでコメントをいただき，その中から何点かを講演中の質問として採用するなどした。他の各種講演会とは異なった工夫のある講演会とすることができたと考えている。

１０００円という低額の入場料で，お年寄りから低年齢層まで，幅広い方々のご来場をいただくことができた。

検証方法と効果：アンケート結果から、約半数の方が自己マネジメントに対するヒントがあったと回答していることから一定程度目的を達成することができた。

もっとも，アンケートにおいてテーマ（自己マネジメント）についての掘り下げに改善の余地があることを指摘されている。この点，真摯に受け止めて今後の事業展開における参考としなければならない。

公益社団法人呉青年会議所のフェイスブックページを活用し、リアルタイムでのコメント表示をしたことは，聴衆の興味喚起・聴衆の講演への参加感の増進に役立った。また、公益社団法人呉青年会議所の公益目的事業を呉市民に周知する契機となったと感じている。



２．事業名：１０月例会

日　時：２０１４年１０月６日（月）２０：０５～２１：０５
場　所：クレベイトンホテル３階　（天の間）
協力団体　：無
事業概要（方法）：仮入会員が仮入会期間で学んだことの集大成として、仮想事業「ＪＣコーヒーアイランド」のプレゼンテーションを行った。
仮想事業実現のために必要な事項について具体的数値を調査したり、現地調査を実施するなどして、プレゼンテーション・ＶＴＲを作り上げた。
仮入会員全員が協力して作成し、充実した内容となった。
仮想事業のプレゼンテーションの後、厳粛な雰囲気の中でのバッヂ授与式を行い、仮入会員が、公益社団法人呉青年会議所の正会員となった。
事業計画と事業実施、これまでの活動を通じて仮入会員が呉青年会議所の一員にふさわしい人材となった。
検証方法と効果：既存の現役会員及び新入会員らへのヒアリングを実施した。
全体的に、「良い例会だった」という意見が多かった。
仮入会員全員の絆が作られている雰囲気が感じられた、事業の内容としても規模が大きく仮入会員らしい内容であったとの感想が多かった。
実際に離島へ行って現地調査した様子のＶＴＲを上映したりするなど、プレゼンテーションの工夫に対する好評価も多くあった。
他方、事業内容の規模や必要予算が大きすぎ、現実味がないとの意見もあった。
ヒアリングの結果から、仮入会員同士が結束している雰囲気を例会中のプレゼンテーションで十分示すことができたと思う。
１０月例会という最終目標に向けて仮入会員会議が開かれ、その過程で仮入会員同士の人と人との強い繋がりが醸成された。

（公社）呉青年会議所　２０１４年度　事業報告書

『事業報告』

Ｊｕｓｔ　ｆｅｅｌ委員会
委員長　　糸谷　知剛

〔スローガン〕　　Just　feel　感性に訴える広報

私が広報委員会の委員長を拝命し、上記スローガンから１年間を通じて出来た事と出来なかった事を改めて振り返ってみた。

広報委員会の仕事として、事業報告をホームページに更新する仕事があるが、３日以内には更新する。感動を新鮮な状態で市民に届ける。これはできたのではないだろうか。

また私はJCとは世間から見て異質な世界だと客観的に見て思っている。例会の記事など限定的な世界の情報を誰が知りたいのだろうか。従来は呉ＪＣの情報だけをインターネット上にアップしていたが、呉市の地域に関する情報を混ぜて発信する事により、より多くの人々に受け入れて頂く事ができたと思う。

Just　feel　感性に訴える広報

事業の動員に関して言えば、こんな言葉はまやかしであった。ＪＣの事業の目的は、この地域に必要とされるものや課題に対し、それを創出し、解決策を提示する事であり、たとえ参加者が少なくともその中から、そういった意識や行動が育まれればそれで成功なのではないかと感じた。事業を立案したまちづくりが責任を持って参加者の動員をする、広報委員会が動員するという事ではなく、ＪＣメンバーひとりひとりがＪＣの事業に対してプライドを持ち、頭を下げてお願いをする事によって多くの人数の集客も可能になる。その先には明るい豊かなまちがあるのではないかと気づかされた。

一年を通じてまさにJust feelと言えるような楽しい委員会、広報活動ができたと思う。次年度の広報活動が少しでも楽になるよう、サステナブルなシステムも作る事ができた。

今年度関わった全ての人に感謝し、次年度以降も引き続き青年会議所のメンバーとして明るい豊かなまちを創造していきたい。

事業報告

１．事業名：２０１４年度総合広報ツール作成
　　日　時：２０１４年度を通じて
　　場　所：
　　協力団体　：なし

事業概要（方法）：予算を削減し効率化を図る為、事業計画書及び会員手帳を含む総合広報ツールとして、２０１４年度（公社）呉青年会議所のホームページを作成し、管理更新などの運営を行った。

①　ホームページに関して

基本的な構成は２０１３年度のものを踏襲した。委員会内でＨＰを更新する事により、ブログ感覚で手軽にホームページの更新ができるようにした。ホームページの月次更新スケジュールは、行事の７日以内に更新する事とした。

②　会員手帳に関して

手帳もＨＰのコンテンツとして盛り込んだ。内容は従来通りの項目で、携帯画面で見やすく使いやすい方法とした。スマートフォンで会員手帳の項目を閲覧した場合、ハイパーリンクから電話を掛ける事が可能になった。

③　事業計画書に関して

基本的には掲載し自由に閲覧して頂く方法であるが、主な関係者諸団体には２０１３年度同様、手交または郵送した。ＨＰに記載する内容は、スローガン、基本方針、理事長所信、専務理事挨拶、事務局長挨拶、副理事長挨拶、室長挨拶、委員長所信、年間事業計画、理事長公職委嘱と従来通りとした。

２０１３年度の事業報告書を関係者諸団体に郵送する際に、２０１４年度からはホームページに掲載する旨の案内文を添付し送った。

検証方法と効果：

メンバーにヒアリングにて意見を集めた。

①　ホームページに関して

事業計画書及び会員手帳、ホームページ（ＨＰ）を一つの事業としてまとめる事により、予算を２０１５年度以降抑える事が可能となり、効率的に広報活動を行うことができるようになった。人を前面に出すデザインで親しみが持てた。事業報告が翌日にはホームページに更新され、フェイスブックで更新の告知がされており、新鮮な情報がいち早く届いた。ＨＰトップ画のみを毎年更新する事で、２０１５年度以降のＨＰ更新費用を安価に抑える事が可能になり、会員数が減少する中、内部的なコストを削減し、対外的に予算を集中できるので良いと思う。

ホームページのアクセス数に関しても２０１３年度は４４，０２１件であったが、２０１４年度は１４０，０００件以上と前年の３倍以上のアクセス数を稼ぐことができ、より多くの方に呉青年会議所の事を身近に感じて頂けた。またフェイスブックではいいね数を３９５から１，６２９に伸ばし、より市民に情報を与える事ができるツールに育てる事ができた。

②　手帳に関して

特別会員より、手帳で名簿が欲しいと言う意見もあった。

スマートフォンでは会員検索し、そこからクリックして電話も掛けられるようになったので便利になった。

③　事業計画書に関して

今年度よりＨＰでの公開をメインに行い一部を手交にしたが、呉市企画情報課や海上自衛隊、教育委員会、くれえばんなど日頃お世話になっている団体には着座で説明を行うことができた。

手交で説明した団体は真剣に事業概要を聞いて頂き、当初事業計画書は全てＨＰでの公開を考えていたが着座にて説明する事の重要さを改めて実感する事ができた。

２．事業名：９月例会

日　時：２０１４年９月１日（月）

場　所：クレイトンベイ３階天の間

協力団体　：広島県観光課　吉野　英城氏

事業概要（方法）：２０１４年度（公社）呉青年会議所の広報活動を振り返り今後の広報活動の指針を提示した。具体的には

① 従来またこの１年間の広報委員会の活動を検証し、次年度以降の広報活動への指針を示した。

② 総合広報ツール作成事業（会員手帳、ホームページ、事業計画書・事業報告書）の詳細を説明し、次年度以降はどのように事業が引き継がれていくべきかを提案した。

③ 今年度の京都会議とサマーコンファレンスのロムツアーの内容を紹介し、次年度以降における理想のロムツアーを提案。それと共に１０月に開催される松山での全国大会への参加をメンバーに促した。

④ 泣ける広島県など県の広報に携わる関係者をお呼びし、行政の広報戦略から呉青年会議所の広報のヒントとした。

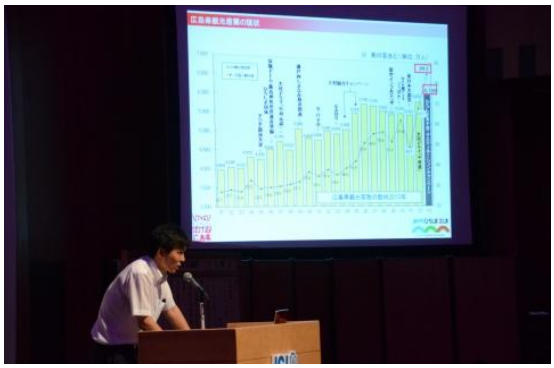
検証方法と効果：メンバーに対してヒアリングをおこない意見を集めた。

・会員手帳の検索機能の紹介は、未だに知らないメンバーも多くおり、この便利な機能を年初にもっと早く知りたかったという意見を頂いた。

・Ｆａｃｅｂｏｏｋの「いいね！獲得運動」は個々に責任を持たせるシステムとして良いモデルだった。各メンバーに責任を持たせるためには、数字で管理を行い、できない人間は恥ずかしいと思うような仕組みが無いと皆頑張らないと思う。

・ホームページへのアクセス数、Ｆａｃｅｂｏｏｋページへのいいね！数など、なるべく具体的数字、また比較対象を挙げて評価をおこなうことで正当な広報効果の検証をおこなうことができた。

・メンバーに対して「ＪＣにおける広報活動とはどうあるべきか」について考えるきっかけを与えることができた。



３．事業名：事業報告書作成

日　時：２０１５年３月

場　所：ホームページに掲載

協力団体　：なし

事業概要（方法）：年間の事業活動の成果を総括し検証するため。

①□年間の事業活動をもとにワードにて作成し、ＰＤＦ化したものをホームページ上に掲載した。構成については、理事長報告（Ａ４　３ページ程度）、副理事長報告、専務理事報告、事務局長報告、公益担当特別理事、室長報告（各Ａ４　１ページ程度）、委員長報告（各Ａ４　１０ページ以内）、収支決算報告書、監査報告書の順とした。写真のサイズは長辺４８０×短辺３６０以内で２５０キロバイト以内とした。

②配布については、ホームページに掲載後にメンバー、特別会員、関係諸団体に案内した。現役会員についてはメンバーメールで、特別会員及び関係諸団体については事業報告書作成の案内文をメール便にて配布し、閲覧して頂いた。

検証方法と効果：年初に配布した事業計画書に基づき一年間に行った事業活動の報告をメンバー、特別会員、関係諸団体に広く周知することで、我々の活動を理解して頂き、次年度以降もより円滑に活動を行うことができるようになった。

（公社）呉青年会議所　２０１４年度　事業報告書

『事業報告』

三ッ星総務委員会
委員長　　平原雅啓

〔スローガン〕*Groovy!!*

５分間・・・。たかが３００秒・・・。
毎例会、各担当例会前の会場を温めるために行なった三ッ星劇場は、３００秒という短い時間の動画や寸劇の中に、私のＪＣで得てきたものをエッセンスとして取り入れ表現した作品であった。
この３００秒を当委員会の事業と捉え、見るメンバーを市民に置き換えた。毎回テーマや目的、手法を本気で取り組み、楽しんでもらいながらもきちんとメッセージを伝え理解してもらい、三ッ星総務の３００秒の汗の結晶を見てもらうことにより、各委員会にエールと発破をかけた。私自身が覚悟を決め信念を持ち突き進むことにより委員会メンバーの *Groove* を１年間、保つことができ、さらに例会においては委員会を超えメンバー全員の *Groove* へ繋がったと自負する。
これを軸に総務が担当する各種例会事業においては、伝統や形式を重んじつつもこれまでにない総務の色を出すよう心掛け結果を恐れず攻める設営を行い、特別会員と現役が交流できる場や、多くのメンバーを巻き込めるような設えになるよう努めた。

最後になりますが１年間無事に委員長職を勤めてこられたのも、藤井副理事長、増田室長をはじめ、渡邉副委員長、鈴木幹事、委員会メンバーのおかげである。ここに感謝を申し上げ報告とさせて頂く。ありがとうございました。

事業報告
１．事業名：総会並びに例会運営

日　時：毎総会　毎例会
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体：なし
事業概要：毎総会を円滑に運営するため資料作成、会場設営、受付、司会、議事録作

成を担当し行った。毎例会において、会場設営・受付・運営・司会を行った。
ＪＣボックスには担当者を置き、規定に該当する場合、喜捨を求めた。
毎例会ごとに三ッ星劇場を開演し例会前の会場を温めた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
ＪＡＹＣＥＥとしての意識統一と確認の場とし、組織・所属委員会の一員であることを自覚し、三ッ星劇場ではスローガンである *Groovy!!*を毎例会感じることができた。

２．事業名：２０１４年度１２月第１例会（次年度担当例会）
日時：２０１２年１２月２日（月）１９：５０～２１：００
場所：クレイトンベイホテル

事業概要（方法）：２０１４年度（公社）呉青年会議所の基本方針をメンバー全員で共有することで、今後の地域貢献活動を展開する出発点とすることを目的とした。スローガン披露の後、道原理事長予定者より所信及び基本方針の説明を行い、２０１４年度呉青年会議所の方向性を示した。理事役員、出向者の紹介、委員会顔合わせを行い、最後に各委員会が登壇し、委員会基本方針を示した。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
・理事長所信が簡潔で分かりやすく、次年度のイメージが具体的に伝わってきた。
・スローガン発表の演出と除幕、映像演出が御洒落だった。
・一緒に例会をしているという感じを受けた。
・２０１４年度（公社）呉青年会議所の基本方針をメンバー全員で共有することができ、又、理事役員、出向者及び委員会の紹介を通じ、メンバーの意識の統一を図る事が出来た。

３．事業名：１月例会（新年互礼会）
日　時：１月１１日（土）
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体：なし

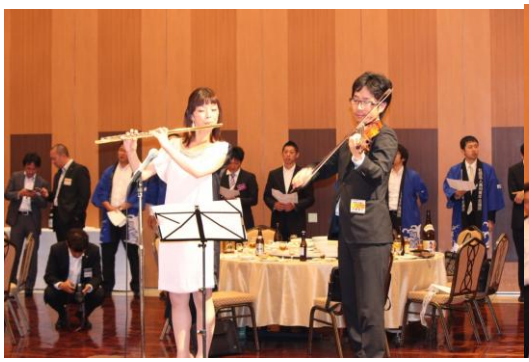
事業概要（方法）：２０１４年度（公社）呉青年会議所の理念と基本方針について行政や関係諸団体に直接伝える事で、今後のご理解とご協力に繋げ、より成果の高い地域貢献活動を展開する事を目的とした。
委員長自らのヴァイオリンの生演奏とムービーでオープニングを行い、室長による開会宣言で幕をあけた。国歌斉唱、ＪＣソング斉唱にテノール歌手 下岡 寛氏を招き斉唱して頂いた。来賓紹介、特別会員紹介を行った後、理事長挨拶を実施し、２０１４年度呉青年会議所の一年間の方向性を内外に明らかにした。最後に来賓より挨拶を頂いた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
・現役メンバーと特別会員を交互に挟む席配置で交流をしっかりと図ることができ一体感が生まれてとてもよかった。
・来賓挨拶等で時間が伸びていたが、その後の時間配分がうまく調整できていた。
２０１４年度（公社）呉青年会議所の理念と基本方針について行政や関係諸団体に直接伝える事ができ、又、今後のご理解とご協力に繋げ、より成果の高い地域貢献活動を展開するための互礼会となった。

４．事業名：６月例会（高知合同例会）
日　時：６月２１日（土）
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体：なし

事業概要（方法）：呉ＪＣと高知例会ＪＣの連携を即し、今後より高度な地域貢献活動を展開する事を目的とした。高知と呉に兄弟ＪＣや合同例会についてのアンケートを行い、その回答を元に兄弟歌を作った。４月１６日に高知の定例会に参加し、多くのメンバーに呉に来てもらえるよう合同例会のＰＲを行い、動画付き案内状も高知メンバー一人一人に郵送した。オープニングムービーの後、開会宣言を増田室長と和泉副理事長（高知ＪＣ）による兄弟ＪＣ締結文と覚書唱和し、呉・高知両理事長挨拶、呉・高知両ＯＢ挨拶、呉・高知事業紹介を糸谷委員長と真辺委員長（高知ＪＣ）をコーディネーターにし、呉・高知各委員長よる事業紹介を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
・事前の高知へのＰＲなどの映像作成がユニークにされていた。
・兄弟締結書、覚書の展示、唱和がされており、絆の確認の工夫がされていた。
・名札の代わりにＣＤの手書きはインパクトがあった。
呉ＪＣと高知例会ＪＣのこれからの連携を即し、今後より高度な地域貢献活動を展開するための確認やお互いの絆をしっかりと醸成した合同例会となった。



５．事業名：１１月例会（創立記念日例会）

日　時：１１月１１日（火）

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）:（公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現することを目的とした。創立からの歴史をＶＴＲで振り返ったあと、グルーヴィー（一体感）を２０１４年度の理事メンバー作り出すため、本年度の理事メンバー全員でフラッシュモブを用いたダンスを行った。その後、理事長挨拶、特別会員会会長挨拶を行った。（公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現することができた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。

・理事メンバーで行ったダンスはＯＢの先輩方にもご好評を頂けた。

・懇親会においては歓談時間が長く、次年度理事メンバーの挨拶回りがしっかりできた。

（公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現することができた。

６．事業名：１２月第１例会（次年度担当例会）

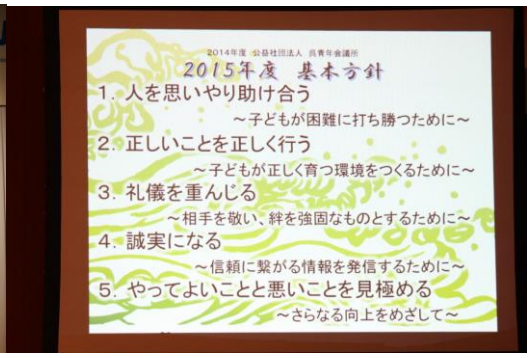
日　時：１２月１日（月）

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要（方法）：次年度の基本方針をメンバー全員で共有することで、今後の地域貢献活動を展開する出発点とする事を目的とした。セレモニー部分を本年度三ッ星総務委員会が執り行い、担当例会部分を次年度総務委員会が行った。次年度の基本方針をメンバー全員で共有することで、今後の地域貢献活動を展開する出発点となった。

検証方法と効果：次年度の基本方針をメンバー全員で共有することで、今後の地域貢献活動を展開する出発点となった。



７．事業名：１２月第２例会（卒業式・卒業送別会）
日　時：１２月２０日（土）
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体：なし

事業概要（方法）：卒業生の功績を称えると共に、卒業後の公益活動を喚起することで、明るい豊かな社会を実現する事を目的とした。
最初に、卒業生の経歴紹介、感謝状授与、現役メンバー代表による送辞朗読、卒業生代表による答辞朗読を行った。委員長率いる弦楽四重奏で奏楽を行った。納会は、ＶＴＲと理事長による総括スピーチにて、本年度事業の報告と検証行った。最後に次年度理事長へ理事長バッジが、次年度専務理事へＪＣ旗が引き継がれた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
・厳粛な雰囲気で式を行うことができた。
・ムービに感動した。
厳粛な雰囲気の中、卒業式を執り行い、卒業生の功績を称えると共に、卒業後の公益活動を喚起することが出来、また、事業報告を行うことにより本年度の呉青年会議所の軌跡を把握し、且つ次年度以降より高度な地域貢献活動を実現するための一助とすることが出来た。

公益社団法人 兵青年会議所　12月第2例会
卒　業　式

公益社団法人　呉青年会議所

会計報告書

自　　2014年1月1日
至　　2014年12月31日

【呉青年会議所】

貸 借 対 照 表

2014年12月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,965,671	4,581,864	1,383,807
未収入金	758,600	746,658	11,942
流動資産合計	6,724,271	5,328,522	1,395,749
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産預金	0	3,300,259	-3,300,259
基本財産未収入金	0	75,000	-75,000
基本財産合計	0	3,375,259	-3,375,259
(2) 特定資産			
周年事業積立金預金	5,625,904	0	5,625,904
退職給付引当金資産	2,040,000	1,986,000	54,000
特定資産合計	7,665,904	1,986,000	5,679,904
固定資産合計	7,665,904	5,361,259	2,304,645
資産合計	14,390,175	10,689,781	3,700,394
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,710	9,416	-706
供託預り金	1,076,501	657,795	418,706
預り金	185,291	0	185,291
流動負債合計	1,270,502	667,211	603,291
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,040,000	1,986,000	54,000
固定負債合計	2,040,000	1,986,000	54,000
負債合計	3,310,502	2,653,211	657,291
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	3,375,259	-3,375,259
（うち基本財産への充当額）	(0)	(3,375,259)	(-3,375,259)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	11,079,673	4,661,311	6,418,362
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(7,665,904)	(1,986,000)	(5,679,904)
正味財産合計	11,079,673	8,036,570	3,043,103
負債及び正味財産合計	14,390,175	10,689,781	3,700,394

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
特定資産運用益	(645)	(0)	(645)
特定資産受取利息	645	0	645
受取入会金	(2,250,000)	(750,000)	(1,500,000)
入会金収入	2,250,000	750,000	1,500,000
受取会費	(14,280,000)	(9,538,750)	(4,741,250)
正会員会費収入	10,050,000	7,062,500	2,987,500
特別会員会費収入	4,230,000	2,476,250	1,753,750
事業収益	(1,765,000)	(2,495,500)	(-730,500)
登録料収入	1,765,000	2,495,500	-730,500
受取補助金	(400,000)	(400,000)	(0)
受取市補助金	400,000	400,000	0
受取寄付金	(0)	(720,000)	(-720,000)
寄付協賛金	0	720,000	-720,000
雑収入	(243,516)	(253,487)	(-9,971)
受取利息	2,207	1,418	789
雑収入	241,309	252,069	-10,760
経常収益計	(18,939,161)	(14,157,737)	(4,781,424)
（２）経常費用			
事業費	(11,040,628)	(10,723,744)	(316,884)
給与(事業	1,563,335	1,090,193	473,142
福利厚生費(事業	252,589	143,293	109,296
旅費交通費(事業	56,680	1,113,570	-1,056,890
通信運搬費(事業	165,945	90,115	75,830
消耗品費(事業	1,187,540	371,651	815,889
広告費(事業	451,500	532,860	-81,360
印刷費(事業	946,096	794,580	151,516
リース料(事業	270,000	53,000	217,000
水道光熱費(事業	60,067	30,543	29,524
会場費(事業	1,746,195	959,350	786,845
賃借料(事業	789,553	374,395	415,158
保険料(事業	13,000	45,120	-32,120
謝礼金(事業	1,517,879	2,252,055	-734,176
記念品費(事業	342,654	591,595	-248,941
保守料(事業	24,900	0	24,900
清掃費(事業	107,400	36,750	70,650
支払助成金(事業	1,056,800	250,000	806,800
支払寄付金(事業	110,200	0	110,200
外注費(事業	81,295	1,923,374	-1,842,079
サイト運営費(事業	270,000	0	270,000
会場費(その他事業	0	69,300	-69,300
雑費(その他事業	0	2,000	-2,000
退職積立繰入額(事業	27,000	0	27,000

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
管理費	(4,691,385)	(2,772,099)	(1,919,286)
給与(管理	1,563,334	1,090,194	473,140
福利厚生費(管理	252,590	143,293	109,297
賃借料(管理	661,053	374,395	286,658
水道光熱費(管理	60,067	30,544	29,523
消耗品費(管理	285,792	125,952	159,840
通信運搬費(管理	342,556	209,451	133,105
印刷費(管理	17,280	116,831	-99,551
会議費(管理	0	13,860	-13,860
渉外費(管理	147,700	70,750	76,950
清掃費(管理	64,200	36,750	27,450
会計監査費(管理	129,600	178,500	-48,900
租税公課(管理	21,000	0	21,000
支払手数料(管理	55,610	82,801	-27,191
諸会費(管理	828,048	61,953	766,095
図書費(管理	183,000	4,000	179,000
雑費(管理	52,555	178,825	-126,270
退職積立繰入額(管理	27,000	54,000	-27,000
経常費用計	(15,732,013)	(13,495,843)	(2,236,170)
評価損益等調整前当期経常増減額	【 3,207,148 】	【 661,894 】	【 2,545,254 】
評価損益等計	(0)	(0)	(0)
当期経常増減額	【 3,207,148 】	【 661,894 】	【 2,545,254 】
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
経常外収益計	(0)	(0)	(0)
（２）経常外費用			
会費等回収不能額	164,045	889,600	-725,555
経常外費用計	(164,045)	(889,600)	(-725,555)
当期経常外損益増減額	【 -164,045 】	【 -889,600 】	【 725,555 】
指定正味財産への振替額	(0)	(1,575,149)	(-1,575,149)
指定正味財産からの振替額	(3,375,259)	(0)	(3,375,259)
当期一般正味財産増減額	【 6,418,362 】	【 -1,802,855 】	【 8,221,217 】
一般正味財産期首残高	4,661,311	6,464,166	-1,802,855
一般正味財産期末残高	11,079,673	4,661,311	6,418,362
Ⅱ．指定正味財産増減の部			
特定財産運用益			
預金利息収入	(0)	(110)	(-110)
一般正味財産への振替額	(3,375,259)	(0)	(3,375,259)
一般正味財産からの振替額	(0)	(1,575,149)	(-1,575,149)
当期指定正味財産増減額	【 -3,375,259 】	【 1,575,259 】	【 -4,950,518 】
指定正味財産期首残高	3,375,259	1,800,000	1,575,259
指定正味財産期末残高	0	3,375,259	-3,375,259
Ⅲ．正味財産期末残高	【 11,079,673 】	【 8,036,570 】	【 3,043,103 】

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	共通	小計	他1	共通	小計			
Ⅰ．一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
①特定資産運用益	(645)		(645)	(0)		(0)	(0)		(645)
特定資産受取利息	645		645			0	0		645
②受取入会金	(2,250,000)		(2,250,000)	(0)		(0)	(0)		(2,250,000)
入会金収入	2,250,000		2,250,000			0	0		2,250,000
③受取会費	(9,573,046)		(9,573,046)	(95,040)		(95,040)	(4,611,914)		(14,280,000)
正会員会費収入	7,458,046		7,458,046			0	2,591,954		10,050,000
特別会員会費収入	2,115,000		2,115,000	95,040		95,040	2,019,960		4,230,000
④事業収益	(1,765,000)		(1,765,000)	(0)		(0)	(0)		(1,765,000)
登録料収入	1,765,000		1,765,000			0	0		1,765,000
⑤受取補助金等	(400,000)		(400,000)	(0)		(0)	(0)		(400,000)
受取市補助金	400,000		400,000			0	0		400,000
⑥受取寄付金	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)
受取協賛金			0			0	0		0
⑦雑収入	(0)		(0)	(0)		(0)	(243,516)		(243,516)
受取利息			0			0	2,207		2,207
雑収入			0			0	241,309		241,309
経常収益計	13,988,691	0	13,988,691	95,040	0	95,040	4,855,430	0	18,939,161
（2）経常費用									0
事業費	(10,945,588)		(10,945,588)	(95,040)		(95,040)			(11,040,628)
給与（事業	1,563,335		1,563,335			0			1,563,335
福利厚生費（事業	252,589		252,589			0			252,589
旅費交通費（事業	56,680		56,680			0			56,680
通信運搬費（事業	165,945		165,945			0			165,945
消耗品費（事業	1,187,540		1,187,540			0			1,187,540
広告費（事業	451,500		451,500			0			451,500
印刷費（事業	946,096		946,096			0			946,096
リース料（事業	270,000		270,000			0			270,000
水道光熱費（事業	60,067		60,067			0			60,067
会場費（事業	1,651,155		1,651,155	95,040		95,040			1,746,195
賃借料（事業	789,553		789,553			0			789,553
保険料（事業	13,000		13,000			0			13,000
謝礼金（事業	1,517,879		1,517,879			0			1,517,879
記念品費(事業	342,654		342,654			0			342,654
保守料(事業	24,900		24,900			0			24,900
清掃費（事業	107,400		107,400			0			107,400
支払助成金（事業	1,056,800		1,056,800			0			1,056,800
支払寄付金（事業	110,200		110,200			0			110,200
外注費（事業	81,295		81,295			0			81,295
サイト運営費(事業	270,000		270,000			0			270,000
退職積立繰入額（事業	27,000		27,000			0			27,000
管理費	( )		( )	( )		( )	(4,691,385)		(4,691,385)
給与（管理							1,563,334		1,563,334
福利厚生費（管理							252,590		252,590
賃借料（管理							661,053		661,053
水道光熱費（管理							60,067		60,067
消耗品費（管理							285,792		285,792
通信運搬費（管理							342,556		342,556
印刷費（管理							17,280		17,280
会議費（管理									0
渉外費（管理							147,700		147,700
清掃費（管理							64,200		64,200
会計監査費（管理							129,600		129,600
租税公課（管理							21,000		21,000
支払手数料（管理							55,610		55,610
諸会費（管理							828,048		828,048
図書費（管理							183,000		183,000
雑費（管理							52,555		52,555
退職積立繰入額（管理							27,000		27,000
経常費用計	10,945,588	0	10,945,588	95,040	0	95,040	4,691,385	0	15,732,013
当期経常増減額	3,043,103	0	3,043,103	0	0	0	164,045	0	3,207,148
2．経常外増減の部									0
（1）経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用									0
会費等回収不能額				0			164,045		164,045
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	164,045	0	164,045
当期経常外損益増減額	0		0	0		0	-164,045		-164,045
指定正味財産からの振替	3,375,259		3,375,259			0			3,375,259
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,418,362	0	6,418,362	0	0	0	0	0	6,418,362
一般正味財産期首残高	197,145		197,145	0		0	4,464,166		4,661,311
一般正味財産期末残高	6,615,507		6,615,507	0		0	4,464,166		11,079,673
Ⅱ．指定正味財産増減の部									0
一般正味財産への振替	-3,375,259		-3,375,259						-3,375,259
当期指定正味財産増減額	-3,375,259	0	-3,375,259	0	0	0	0	0	-3,375,259
指定正味財産期首残高	3,375,259		3,375,259			0	0		3,375,259
指定正味財産期末残高	0		0	0		0	0		0
Ⅲ．正味財産期末残高	6,615,507		6,615,507	0		0	4,464,166		11,079,673

財務諸表に対する注記

Ⅰ 重要な会計方針
引当金の計上基準
・退職給付引当金
事務職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金支給規定に基づき期末要支給額を計上している。

(単位:円)

退職給付債務	2,040,000
退職給付引当金	2,040,000

消費税等の会計方式
・税込方式による

Ⅱ 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】				
基本財産預金	3,300,289	0	3,300,289	0
基本財産未収入金	75,000	0	75,000	0
小計	3,375,289	0	3,375,289	0
【特定資産】				
特定資産預金	0	9,450,904	3,825,000	5,625,904
退職給付引当資産	1,986,000	54,000	0	2,040,000
小計	1,986,000	9,504,904	3,825,000	7,665,904
合計	5,361,289	9,504,904	7,200,289	7,665,904

Ⅲ 特定資産の財源の内訳
特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【特定資産】				
特定資産預金	5,625,904	—	5,625,904	
退職給付引当資産	2,040,000	—	—	2,040,000
合計	7,665,904	—	5,625,904	2,040,000

Ⅳ 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取市補助金	呉市	0	400,000	400,000	0	—

Ⅴ その他
・未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

附属明細書

Ⅰ　基本財産及び特定資産の明細
注記に記載しているため、省略する。

Ⅱ　引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,986,000	54,000	0	0	2,040,000

財産目録

2014年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	446,409
	預金	【普通預金】 呉信用金庫	No456381;運転資金として	3,772,917
			No1011799(供託金);正会員、実費弁償用	1,098,733
		もみじ銀行	No2248674;運転資金として	223,853
		広島銀行	No0599404;運転資金として	423,759
			〈現金・預金計〉	5,965,671
	未収金	正会員3名 OB会員8名	当会計期間内に会員が納入すべき会費・入会金の未収分である	758,600
			〈未収金計〉	758,600
流動資産合計				**6,724,271**
(固定資産) 特定資産	預金	【普通預金】 呉信用金庫	【周年事業等積立資産】	904
		【定期預金】 呉信用金庫	周年事業の積立資産として管理している	5,625,000
		広島銀行	【職員退職給付引当資産】 職員退職給付の引当資産として管理している	2,040,000
			〈特定資産計〉	7,665,904
固定資産合計			*うち引当等資産*	7,665,904
資産合計				**14,390,175**
(流動負債)	未払金	共益事業	送料	8,710
	供託預り金	正会員	正会員個人が負担すべき登録料等の支払いのための預り金である	1,076,501
	預り金		社会保険料・源泉所得税・市民税	185,291
			〈未払金・供託預り金・預り金計〉	1,270,502
流動負債合計				**1,270,502**
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	【退職給付引当金】 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金	2,040,000
			〈退職給付引当金計〉	2,040,000
固定負債合計				**2,040,000**
負債合計				**3,310,502**
正味財産				**11,079,673**

監査報告書

公益社団法人　呉青年会議所
理事長　　道原　正嗣　　殿

2015年1月22日

公益社団法人 呉青年会議所
監事　相原新太郎
監事　田丸康人

私たち監事は、2014年1月1日から2014年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長　　道原　正嗣　　殿

2015年1月22日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士　武安紘二

上記、公益社団法人呉青年会議所2014年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。